

金の鯨でお馴染みの名古屋城は、慶長 17 年(1612 年) 完成しました。
家康九男の義直が尾張初代藩主として入城、以降 徳川御三家筆頭の居城として
栄えました。天守閣は閉鎖中ですが、藩主の住居、政庁として建てられた国宝本丸御殿は、
平成 30 年に復元工事が完成し、絶賛公開中です。

また、トヨタ産業技術記念館は、近代日本の発展を支えた繊維機械と、現代を開拓し続ける
自動車の技術の変遷を通して、日本の産業技術史について次代を担う人たちへ系統的に
紹介するための施設です。名古屋が誇る豪華絢爛と圧巻の近代技術を観に行きましょう！

記

1. 実施時期:2020 年 3 月 6 日 雨天決行
2. 集合 :7 時 50 分 梅田大和ハウス前
3. 行程・・・出発は同時ですが、名古屋での見学は交互入れ替えて実施します。
見学及び帰路は 1 号車、2 号車は別々になりますので、ご承知ください。

西梅田大和ハウス前 8:00 出発～阪神・名神・新名神～9:25-9:40 土山 SA(休憩)

東名阪・名古屋高速 ～ 名古屋市内

<1 号車> 1 班 3 班

10:50-13:00 名古屋城本丸御殿等見学 見学 90 分 城内ガイド説明、
お弁当 30 分(城内又はバス内)、バス移動～

13:15-14:45 トヨタ産業技術記念館(見学 70 分～90 分) 自由見学

<2 号車> 2 班 4 班

10:50-13:00 トヨタ産業技術記念館 見学 70 分～90 分・ 自由見学
お弁当 30 分(昼食ホール 12:00～12:30) バス移動～

13:15-14:45 名古屋城本丸御殿等見学(見学 90 分) 城内ガイドの説明あり

～高速経由～16:30-16-45 土山 SA(休憩) ～ 18:30 頃 西梅田

参加費用: 3000 円 2 月 21 日(金)に企画班幹事に支払いをお願いします。申し込み後
キャンセルの場合、所定のキャンセル料が発生しますので、ご了解ください。

申込期日:2 月 20 日

持物 弁当(必ず持参)、飲み物、敷物、雨具、筆記具、他

◆ トヨタ産業技術記念館 音声ガイドアプリが利用できます。スマホにダウンロードする方法
はこちらをご覧ください。ご利用にはイヤフォンが必要です。お忘れなく！

www.tcmit.org/usageguide/audio-tour.html

以上

名古屋城本丸御殿

本丸御殿は、近世城郭御殿の最高傑作と言われ国宝に指定されていた建物で、京都二条城の二の丸御殿と並ぶ武家風書院造の双璧と言われていました。1930年(昭和5年)に国宝に指定されましたが、1945年(昭和20年)5月、空襲により天守閣、本丸御殿ともに焼失してしまいましたが2009年(平成21年)1月に復元に着手し、2018年(平成30年)6月に完成公開しました。

内部は、狩野貞信や狩野探幽など日本画史上最大の画派「狩野派」の絵師たちにより、部屋ごとに異なる題材で床の間絵、襖絵などが描かれ、絢爛豪華に彩られていました。戦災により本丸御殿は失われましたが、取り外すことができた襖絵や天井板絵などは焼失を免れ、今も大切に保管されています。そのうちの1,047面が国の重要文化財の指定を受けています。

トヨタ産業技術記念館

トヨタ産業技術記念館は、豊田佐吉が明治44年に織機の研究開発のために創設した試験工場の場所と建物を利用して1994年6月、名古屋市西区・栄生の地に開館しました。当館は、往時の様子をとどめる豊田自動織機製作所栄生工場(豊田紡織より移譲)を産業遺産として保存しながら、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を通して、日本の産業技術史について次代を担う人たちへ紹介するための施設です。展示の一部を紹介すると、**織機コーナー**では、人力織機から動力織機、自動織機、そしてコンピュータ制御が用いられた最新の織機までの織機技術の移り変わりを、観ることができます。

自動車の仕組みと構成部品コーナーでは、自動車の基本的なしくみとともに、エンジン、トランスミッション、ブレーキ、ステアリング、シャシー、ガラス、ボデー、ランプなど、車を構成する部品の変遷と技術の進歩をわかりやすく展示しています。

名古屋城本丸御殿

竹林豹虎図(玄関一之間東側襖絵)



トヨタ産業技術記念館

「自動車事業創業期」のモデル

